

一般質問通告一覧表

平成30年6月12日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	田村哲郎	70分	地域情報通信網の整備充実について 長門市ケーブルテレビ（ほっちゃテレビ）は供用開始から15年経過し、現在はテレビ・インターネット・FMラジオ再送信・音声告知放送・自主制作番組等、多くの市民が利用している。 しかしこの15年間、ICT技術革新は目覚ましいものがある中で、民間事業者の進出しない長門市のような中山間地域では都市部との「情報格差」はますます大きなものになっているばかりではなく、同軸ケーブルや送受信設備の代替機の生産急減や廃止など、現状のままでは保守点検・維持そのものが危うくなると予測されている。加えて、スマートフォン等の端末機器の急増により、Wi-Fi環境の整備等、新たな課題も迫っている。 そこで、第2次総合計画にもあるように、地域情報通信網の整備充実における現状・課題・今後の取り組みについて尋ねる。	市長 部課長	9:30
2	先野正宏	70分	定住対策について 本市では地域おこし協力隊や空き家情報バンク等の施策を展開し定住対策に取り組んでおられるが、市の人口は毎年、減少している状況である。 平成29年12月議会で定住対策について質問したが、定住に結びつく雇用及び産業振興等、その後の取り組み状況について尋ねる。 空き家対策について 本市では少子高齢化に伴い人口減少が進む中、倒壊寸前の空き家が増加している。 平成29年12月議会で「長門市空家等対策の推進に関する条例」が可決されたが、空き家対策の事業の進捗と今後の取り組みについて尋ねる。	市長 部課長	10:50
3	南野信郎	40分	2学期制の導入について 2002年4月から公立小中学校、及び高等学校の多くで毎週土曜日が休校日となり完全な学校週5日制になった。 その結果、授業時間の確保が困難になり、教師に大きな負担を強いることになるとともに、5・6時間授業が増え、児童会・生徒会活動や放課後活動にゆとりがなくなった今、全国各地で2学期制が導入されているが、本市においても今後そのような問題解決のため2学期制の導入を検討してみる考えはないのか尋ねる。	教育長 部課長	13:00
4	吉津弘之	40分	ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致について 本市はラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地に内定し、2019年の日本大会に向けて、官民一体となって連携を深めていかなければならないと考える。現在の取り組み状況と今後の対応について尋ねる。	市長 部課長	13:50
5	大草博輝	60分	観光振興について 国は、「観光立国推進基本計画」において、東京オリンピックが開催される2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人とする目標を掲げている。 長門市では元乃隅稲成神社やセンザキッチンなどの集客効果によって、平成29年中の観光客数が214万人に達し過去最高を記録するなど、新たな局面を迎えているが、現時点での観光施策の成果についてどのように評価しているのか。	市長 部課長	14:40

平成30年6月13日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	林 哲也	70分	「長門湯本温泉観光まちづくり計画」について 長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」では、持続的かつ好循環な温泉街を創ることを目標に掲げ、本年2月14日には公衆浴場「恩湯」建て替えに関する施設設備、運営事業について「長門湯守」が優先交渉権者に決定した。また、地元から温泉街への集客対策として湯本駅の移転要望も提出されているが、それらの状況を踏まえて長門湯本温泉のまちづくりの方向性を問う。	市長 部課長	9:30
			交流拠点施設「センザキッチン」について 仙崎地区の交流拠点施設「センザキッチン」は、昨年の10月7日に農林水産物等直売所及びレストラン棟がオープンし、本年4月20日には「道の駅」としてグランドオープンした。センザキッチンは地域産業と経済の活性化を促進し、地産地消の推進など一次産業を中心とした所得の向上と雇用の創出を目的とするものだが、これまでも振り返り、改善すべき課題や今後の展望を問う。	市長 部課長	
7	重廣正美	40分	職員研修事業について 職員数は組織改革において削減されている状況であるが、職員研修事業の費用は増加しているように思われる。本事業の成果をどう捉えているか。また、今後の計画を問う。	市長 部課長	10:50
8	江原達也	50分	成年後見制度、自立支援・死後事務サービスの取組強化について ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者、障害者を抱える家族など、さまざまな不安や不自由を感じながら生活している人は少なくない。そうした人たちの将来の不安を取り除く施策、特に成年後見制度や自立支援・死後事務サービスに対する窓口の一本化、支援体制の拡充・強化が、多くの自治体で競うように進められている。これらの制度・サービスに対する、本市の基本的考え方について尋ねる。	市長 部課長	13:00
9	岩藤睦子	50分	市職員の職場環境について 本市は現在、様々な大型事業に取り組んでいるが、年々職員数は削減され、本来の業務以外に手伝う行事も多くあり、職員1人あたりの負担が増えているように感じる。余裕のない職場環境になっているのではないかと。市長は、職員の実状をどのように捉えているのか尋ねる。	市長 部課長	14:00
10	綾城美佳	40分	障害者に対する就労支援について 通常の事業所に雇用されることが困難な障害者への自立及び就労支援等を行う就労継続支援（A型・B型）事業における本市の現状と課題について尋ねる。	市長 部課長	15:00

平成30年6月14日（木）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
11	重村法弘	50分	有害鳥獣捕獲対策事業における捕獲奨励金について 山口県では、平成28年度の野生鳥獣による農林業被害額は対前年度比2%増の5億3,400万円と報告されている。 本市においても鳥獣被害は深刻な状況で、捕獲奨励金を交付するなど、鳥獣被害防止対策の推進に取り組んできた。 そんな中、捕獲対策事業の捕獲奨励金が課税の対象との指摘により、過去3年にさかのぼって徴収された事案があったと聞く。この件に関し、本市の見解と事業の今後について尋ねる。	市長 部課長	9:30
12	早川文乃	40分	おもてなしの心について 平成29年3月策定の第2次長門市観光基本計画では、「観光客を受け入れるおもてなし力の強化は必須である」とうたわれている。市民、地域、事業者、関係機関がそれぞれの立場から持続可能な「おもてなし」とは何か。また具体的な取り組みを問う。	市長 部課長	10:30
13	橋本憲治	40分	自治会活動の活性化と今後のコミュニティ施策について 市内各自治会では、敬老会や高齢者のサロン開催、河川清掃、子ども会など、地域コミュニティを構成する重要な組織として、様々な社会活動に取り組まれているところだが、少子高齢化と人口減少が進む中で、その継続について困難な状況下にあると考える。こうした自治会が置かれている現状と、今後、自治会活動の更なる活性化に向けて、どのような施策を考えられているのか、市長の考えを尋ねる。	市長 部課長	11:20
14	中平裕二	60分	水産業の振興について 本市において、水産業は重要な産業の1つであるが、近年水揚げ量も、額も、組合員数も減少を続けている。そこで、本市の水産業の振興について今後の方針を問う。	市長 部課長	13:00
			子育て支援について 子育て支援策として、市では様々な施策を講じているが、市民からは更なる支援の充実を求める声を聞く。以下3項目における現状と今後の取り組みについて尋ねる。 ① 高校生の通学費補助について ② 子ども（小学生）の各種予防接種について ③ 保育園、幼稚園における保育士の適正配置について	市長 部課長	